

銚子市立病院皮膚科の診療体制

I. 皮膚科診療の考え方

銚子市立病院皮膚科では皮膚に関する診療全般を行い受診者と御家族に安心して頂くよう最新最良の治療を提供します。一般外来診療は現在週日(月曜日-金曜日)の午前と午後です。患者さんの悩みをできるだけ当科で解決し、場合によっては近隣の大学病院や総合病院皮膚科と連携し入院を必要とする患者は紹介し、皮膚科医療機関としての皮膚疾患診療の完結に努力します。

昔から「皮膚は身体の鏡」といわれています。患者の訴える症状の下に潜む全身性疾患を見逃さないように診療します。皮膚は独立した人体最大の臓器で、他の臓器と有機的に関りながら一個体を形成しています。従って、皮膚の疾患には皮膚に限られた異常、他臓器疾患と関連した異常(他臓器の異常に由来した皮膚病変、他臓器疾患を引き起こす皮膚疾患)があります。このように多様性に富んだ皮膚科疾患を種々の方法で診断と治療を行います。

II. 担当医師

現在常勤医師は不在で次の3名の非常勤医師(50音順)で外来患者の診療を行っています。常勤医師の採用までは非常勤医師の連携を良くし得意分野を生かし、「銚子市立病院皮膚科」の基本的考え方を共有する必要があります。

1. 松本忠彦(まつもと ただひこ) 1969年(昭和44年)九州大学医学部卒業
医学博士、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、ICD制度協議会認定ICD(Infection Control Doctor)

職歴(いずれも皮膚科):九州大学講師、労働福祉事業団九州労災病院部長、株式会社東芝 東芝病院部長

兼務:順天堂大学皮膚科非常勤講師(平成3年-現在)、久留米大学皮膚科非常勤講師(平成9年-現在)

留学: Division of Mycotic Diseases, Centers for Disease Control and Prevention, Atlanta, Georgia, U.S.A. (1977, 1981-1983)

専門分野:皮膚科一般、微生物学、医真菌学、菌学

受賞:「日本医真菌学会2008年学会賞」(平成20年9月10日)

2. 宮路貴晶(みやじ たかあき) 2006年(平成16年)東邦大学医学部医学科卒業

職歴(いずれも皮膚科)：戸塚共立第1病院、聖マリアンナ医科大学(助教)、鶴川サナトリウム病院、鶴川記念病院

専門分野：皮膚科一般、乾癬、褥瘡、加齢対策

3. 谷野千鶴子(やのちずこ)1994年(平成6年)東京慈恵会医科大学卒業

職歴(いずれも皮膚科)：東京慈恵会医科大学附属病院、国立西埼玉中央病院、東京通信病院)など、現在東京慈恵会医科大学研究生

資格：日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、日本アレルギー学会認定専門医

専門分野：皮膚アレルギー、アトピー皮膚炎

[週間診療担当表]

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:00-16:00	09:00-16:00	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-16:00
宮路	谷野	宮路	松本	松本

(平成23年7月19日現在)

III. 主な医療機器

1. 顕微鏡：病理組織検査、真菌検査
2. ダーモスコピー：悪性黒色腫、基底細胞上皮腫、ボーエン病、色素性母斑、老人性色素斑、脂漏性角化症、エクリン汗孔腫、血管腫などの色素性皮膚病変の診断
3. 液化窒素：尋常性疣贅、脂漏性角化症、結節性痒疹、多発性円形脱毛症などの治療
4. 医療用紫外線照射装置：尋常性乾癬などの治療

IV. 診察・検査・治療

1. 既に他の医療機関を受診されている方は当院受診の際に紹介状(診療情報提供書)を御持参下さると幸いです。これまでの経過が把握でき不要な検査を省略できます。紹介状がなくても当科を受診できますが、「紹介状が有る方が患者と医師双方の利益」となります。
2. 受診者の不満の多い「長い待ち時間」の短縮を各担当医が予約制を含め検討しています。最終的には病院の決定方針に従います。
3. 開業医と大学病院・総合病院皮膚科との中間的な立場の皮膚科専門診療を目指します。広範囲の熱傷、薬疹、重症皮膚感染症、皮膚悪性腫瘍などの患者さ

んは大学病院ないし総合病院皮膚科へ紹介し入院治療への橋渡しを行います。

4. アレルギー検査とその臨床評価を致します。接触アレルギー検査（パッチテスト）は常勤医採用後に検討します。それまでは信頼できる皮膚科専門医、総合病院、大学病院に依頼します。

5. 液化窒素による冷凍凝固療法を行っています。綿球に液化窒素を含ませて病変部に当てる「綿球法」です。病変の部位、大きさ、重症度、罹病期間などによって治療期間と経過に個人差があります。対象疾患は次の通りです

A. 尋常性疣贅（ウイルス性疣贅）

B. 皮膚良性腫瘍（脂漏性角化症、アクロコルドン、血管拡張性肉芽腫など）

C. 皮膚悪性腫瘍（外科的切除が困難な高齢者の日光角化症やボーエン病などの治療）

V. より良い医療を目指して

「医療は究極のサービス業である」と言われています。医師が患者を「自分の家族だったらどのように診療を進めるだろう」と考えて診察に臨めばマスコミで問題となる医師-患者間のトラブルは確実に減少します。良い医療を確立するには、(1)直接医療に関与するヒト(医師、看護師など)、(2)それを支える病院管理組織、(3)受診する患者とその家族の信頼、の3要素が不可欠です。銚子市立病院皮膚科ではこの3要素を十分に意識しより良い医療を目指します。

(Updated by Dr. T. Matsumoto on July 18, 2011)